

The background of the slide features a collage of three images: a group of people dining and drinking beer, a laboratory setting with a gloved hand using a pipette, and a close-up of various pills and capsules. The KIRIN logo is positioned at the top center of the collage.

KIRIN

よろこびがつなぐ世界へ
Joy brings us together

キリングroup° 2025年度決算・2026年度計画

2026年2月13日

- 25年決算と26年計画の概要について簡潔にご説明します。

▶ 売上収益・事業利益ともに過去最高を達成。親会社所有者利益は2.5倍に増加

(億円)	24年実績	25年実績	増減	%
売上収益	23,384	24,334	950	4.1%
事業利益 *	2,110	2,518	408	19.3%
税引前利益	1,397	2,379	981	70.2%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	582	1,475	893	153.4%

定量実績	24年実績	25年実績	増減	%
ROIC	4.1%	7.6%	-	-
EPS	72円	182円	110円	153.4%

	24年	25年	増減	%
一株当たり年間配当金	71円	74円	3円	4.2%

2025年度 実績

- ▶ 事業利益の大幅増加に加え、事業利益以下の一時発生コストの抑制に注力したことが奏功し、税引前利益と親会社所有者利益は大幅に増益
- ▶ EPSは、親会社所有者利益の増加に伴い、大幅に増加し、年初で目指した目標レベルを達成
- ▶ 事業利益は、各事業の順調な進捗と、FANCLの年間寄与に加え、医薬事業の技術ライセンス収入の想定以上の増加によって、大幅な増益となった
- ▶ ROICは当期利益の増益により年初目標を達成
- ▶ 配当は、前年3円増配の74円を予定

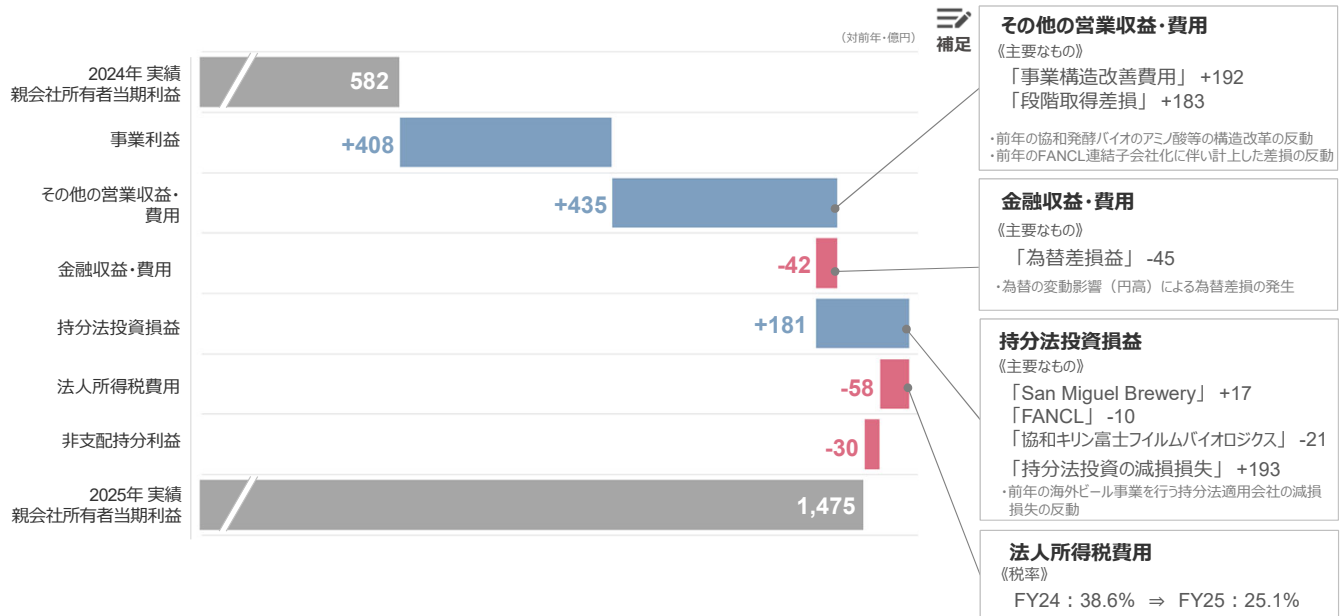
* 事業の経常的な業績を測る利益指標として、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して算出。

- 2025年は増収増益、特に、親会社利益は約2.5倍の大幅増益となりました。
- 要因は各事業の稼ぐ力が高まっていることと、事業利益以下のコストをしっかりとコントロールできたことです。
- EPSはわずかに目標に届きませんでした。将来のための構造改革を思い切って前倒しで行った結果です。
- ROICは年初目標を達成し順調に回復しており、配当は計画通り3円の増配を予定しています。

2025年度 実績：親会社の所有者に帰属する当期利益増減



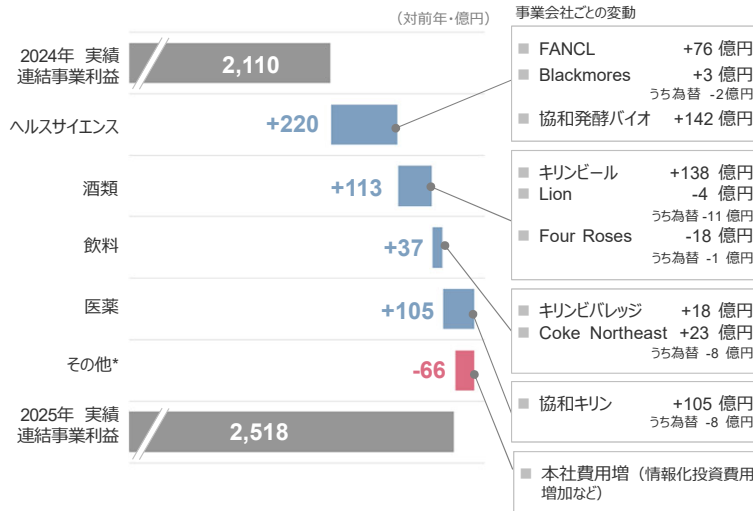
(対前年・億円)



© Kirin Holdings Company, Limited

3

- こちらは、親会社利益が2.5倍となった要因の分析です。後ほどご確認ください。



トピックス

- ▶ 為替を加味すればほぼ全ての事業が増益。結果、4セグメントすべてがバランスよく増益となった
- ▶ ヘルスサイエンス事業はFANCLの年間寄与と、協和発酵バイオの黒字化により大幅な収益性改善を実現
- ▶ 医薬事業は減益を計画していたものの、技術ライセンス収入の想定以上の増加、コスト管理の徹底等によって増益に転じた
- ▶ 競合のサイバー攻撃の影響により国内酒類事業等で増益影響が発生

* 「その他」は、「その他」と「全社費用/セグメント間取引消去」との合算値

© Kirin Holdings Company, Limited

- このページは、セグメント別の事業利益増減となります。
- 詳細の説明は割愛いたしますが、全てのセグメントが増益となり、バランスの取れた決算となりました。

➤ EPSと親会社所有者利益は約6%の増加を目指す

(億円)	24年実績	25年実績	26年予想	増減	%
売上収益	23,384	24,334	24,800	466	1.9%
事業利益 *	2,110	2,518	2,350	-168	-6.7%
税引前利益	1,397	2,379	2,580	201	8.5%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	582	1,475	1,560	85	5.7%
定量実績	24年実績	25年実績	26年予想	増減	%
ROIC	4.1%	7.6%	7.7%	—	—
EPS	72円	182円	193円	11円	6.0%
	24年	25年	26年	増減	%
一株当たり年間配当金	71円	74円	76円	2円	2.7%

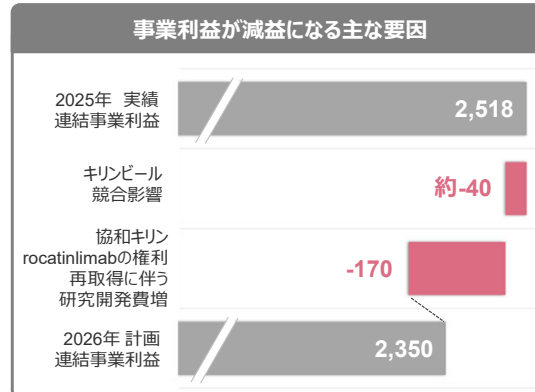
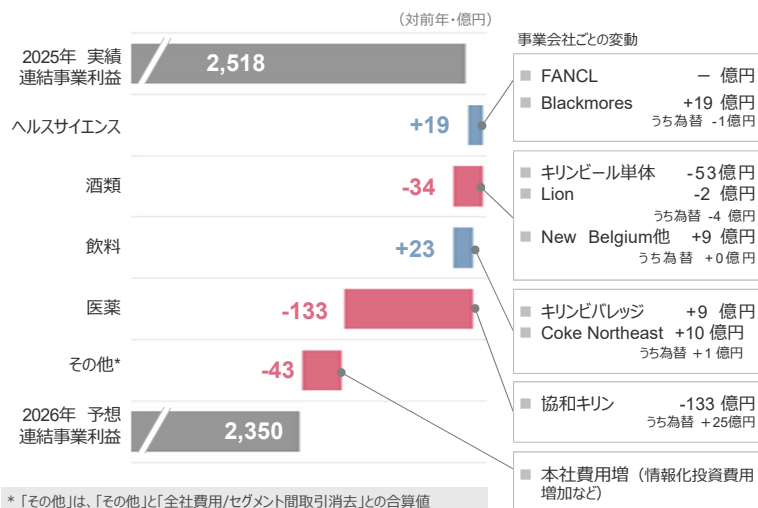
* 事業の経常的な業績を測る利益指標として、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して算出。

© Kirin Holdings Company, Limited

2026年度 予想

- 事業利益は減益を見込むが、事業利益以下の一時発生コストのさらなる抑制により、税引前利益と親会社所有者利益は対前年で増益を計画
- EPSは、対前年で+1桁後半%の成長を目指す
- 事業利益は減益を見込むが、その主な要因は、次のとおりである。
 - 前年の競合のサイバー攻撃に伴う影響の反動
 - 医薬事業におけるrocatinlimabの権利再取得に伴う研究開発費および米国上市にむけた準備費用の増加
- ROICは、当期利益のさらなる増加と有利子負債の返済により向上させる
- 配当は、対前年2円増配の年間76円を予定
- なお、Four Roses 社の売却に伴う影響は、2026年度の予想において加味していない

- 最後に2026年の計画についてご説明します。
- EPSは中長期の目標に沿って、6%の増加を目指します。
- ROICは7.7%と着実に改善を進めます。
- 配当は、2円増配の76円を予定しています。
- 事業利益が、2025年比で減益となりますが、詳細は次ページでご説明します。
- なお、フォアローゼズの売却影響については、現時点計画に織り込んでおりません。第2四半期のクロージングの際にご説明する予定ですので、しばらくお待ちください。



▶ 事業利益は減益予想だが、2025年の競合のサイバー攻撃に伴うプラス影響と2026年の医薬事業における rocatinlimabの権利再取得に伴う研究開発費増を除いたベースでは、増益を目指していく

事業利益 為替感応度

USD (米ドル) +9億円/1円安 / AUD (豪ドル) +3億円/1円安

© Kirin Holdings Company, Limited

6

- 事業利益が減益となる理由は以下の2点です。
- まず、キリンビールは競合のサイバー攻撃に伴う影響で2025年に約40億円の上乗せがありました。
- 次に、医薬事業で、ロカチンリマブのスキーム変更によって、研究開発費が170億円増えます。
- この2つの特殊要因を除くと、事業利益もしっかり増益基調を維持しています。
- 私からのご説明は以上となります。
- ご清聴ありがとうございました。

Environment

TNFD自然移行計画パイロットプログラムに参加

- ▶ グループ内で水リスク*の高い拠点の一つ New Belgium Brewingの醸造所において TNFDが主催する自然移行計画パイロットプログラムに参加
- ▶ 同拠点の操業リスクを低減するため、地域のステークホルダーとの協業につなげる

* 水不足や洪水のリスクなどの水に関する様々なリスク



詳細はこちら

スリランカ紅茶農園の持続的な未来に向けた取り組み

- ▶ 東京大学大学院と行っている共同研究にてスリランカ紅茶農園の環境インパクトを定量的に確認
- ▶ スリランカ紅茶農園で働く従業員の子どもたちに向けて「キリン ネイチャー スクール in スリランカ」を開催



詳細はこちら



詳細はこちら

コーヒー農園の持続性や環境負荷軽減とアルコール関連の社会課題に貢献

- ▶ 果肉等の多くが廃棄されるコーヒーチェリー由来の発酵素材を開発
- ▶ 飲みごたえや香味を高める特徴から、ノンアルコールや低アルコール飲料の飲用満足度を高める可能性を見出した



詳細はこちら

摘房ブドウを提供した商品化の取り組みにより地域を盛り上げる

- ▶ 持続可能なワイン造りを目指す「シャトー・メルシャン」が摘房ブドウを地元企業に提供
- ▶ 生産者や事業者と協業して商品を通して地域を盛り上げていく取り組み



詳細はこちら

外部評価

CDP「水セキュリティ」で最高位「Aリスト」を獲得

- ▶ 「水セキュリティ」における「Aリスト」獲得は10年連続



詳細はこちら

「第7回日経SDGs経営大賞」で「大賞」を受賞

- ▶ 日経SDGs経営総合ランキングでは第1回から7年連続で最高位を獲得



詳細はこちら

PRIDE指標*の最高評価「ゴールド」を受賞

- ▶ LGBTQ+に関する取り組みに対する評価指標「PRIDE指標2025」において、最高評価を9年連続で受賞

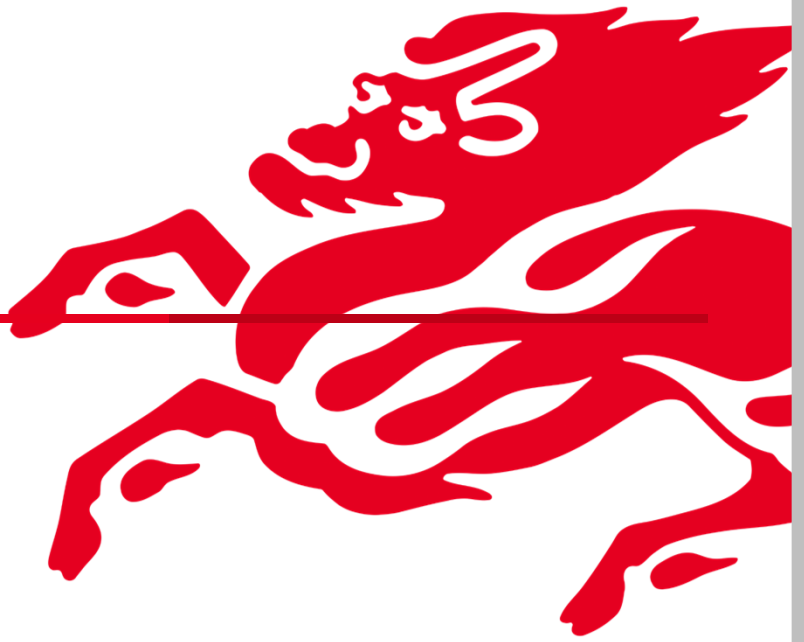


詳細はこちら



資料編

Joy brings us together



2025年度 実績：セグメント別 売上収益



(億円)		2025年実績	2024年実績	増減	%
連結 売上収益		24,334	23,384	950	4.1%
酒類		10,753	10,817	-64	-0.6%
	麒麟ビール	6,655	6,627	28	0.4%
	Lion	2,835	2,947	-112	-3.8%
	うち豪州・NZ	1,957	2,030	-73	-3.6%
	うち北米クラフト他	878	917	-39	-4.2%
	Four Roses	260	274	-14	-5.2%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	1,002	969	34	3.5%
飲料		5,782	5,649	133	2.4%
	麒麟ビバレッジ	2,697	2,688	9	0.4%
	Coke Northeast	2,999	2,869	130	4.5%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	86	92	-6	-6.6%
医薬		4,965	4,953	12	0.2%
	協和麒麟	4,968	4,956	13	0.3%
	セグメント間取引消去	-3	-3	-0	-
ヘルスサイエンス		2,514	1,753	761	43.4%
	FANCL	1,126	345	781	226.4%
	Blackmores	702	691	10	1.5%
	協和発酵バイオ	468	502	-34	-6.8%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	219	215	4	2.0%
その他		320	213	108	50.6%

© Kirin Holdings Company, Limited

2025年度 実績：セグメント別 事業利益



(億円)		2025年実績	2024年実績	増減	%
連結 事業利益		2,518	2,110	408	19.3%
酒類		1,354	1,240	113	9.1%
	麒麟ビール	889	751	138	18.4%
	Lion	309	314	-4	-1.4%
	うち豪州・NZ	225	216	9	4.1%
	うち北米クラフト他	84	98	-13	-13.6%
	Four Roses	83	101	-18	-17.5%
	その他	72	75	-3	-3.7%
飲料		677	640	37	5.8%
	麒麟ビバレッジ	201	183	18	10.0%
	Coke Northeast	466	443	23	5.1%
	その他	10	14	-4	-28.7%
医薬		1,023	919	105	11.4%
	協和麒麟	1,023	919	105	11.4%
ヘルスサイエンス		111	-109	220	—
	FANCL	96	20	76	378.9%
	Blackmores	63	60	3	5.0%
	協和発酵バイオ	2	-140	142	—
	その他	-50	-49	-1	—
その他		-11	0	-11	—
全社費用・セグメント間取引消去		-636	-580	-55	—

© Kirin Holdings Company, Limited

2026年度 予想：セグメント別 売上収益



(億円)		2026年予想	2025年実績	増減	%
連結 売上収益		24,800	24,334	466	1.9%
酒類		10,840	10,753	87	0.8%
	キリンビール*	7,166	7,139	27	0.4%
	うちキリンビール単体	6,636	6,655	-19	-0.3%
	Lion	1,945	1,957	-12	-0.6%
	New Belgium他**	930	878	51	5.9%
	Four Roses***	296	260	36	13.9%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	504	518	-15	-2.8%
飲料		5,940	5,782	158	2.7%
	キリンビバレッジ	2,706	2,697	9	0.3%
	Coke Northeast	3,139	2,999	140	4.7%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	95	86	10	11.5%
医薬		5,200	4,965	235	4.7%
	協和キリン	5,200	4,968	232	4.7%
	セグメント間取引消去	—	-3	3	—
ヘルスサイエンス		2,570	2,514	56	2.2%
	FANCL	1,319	1,126	193	17.2%
	Blackmores	759	702	58	8.2%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	492	686	-195	-28.4%
その他		250	320	-70	-22.0%

* キリンビール単体の他、台湾麒麟等の連結構成会社を含む

** U.S. ワインを含む

*** Four Roses社の売却に伴う影響は、2026年度の予想において加味していない

2026年度 予想：セグメント別 事業利益



(億円)		2026年予想	2025年実績	増減	%
連結 事業利益		2,350	2,518	-168	-6.7%
酒類		1,320	1,354	-34	-2.5%
	キリンビール*	890	940	-51	-5.4%
	うちキリンビール単体	836	889	-53	-5.9%
	Lion	223	225	-2	-1.0%
	New Belgium他**	94	84	9	11.2%
	Four Roses***	98	83	15	17.9%
	その他	16	21	-5	-24.4%
飲料		700	677	23	3.4%
	キリンビバレッジ	210	201	9	4.6%
	Coke Northeast	476	466	10	2.1%
	その他	15	10	5	46.8%
医薬		890	1,023	-133	-13.0%
	協和キリン	890	1,023	-133	-13.0%
ヘルスサイエンス		130	111	19	17.5%
	FANCL	96	96	—	—
	Blackmores	83	63	19	30.6%
	その他	-48	-48	—	—
その他		-40	-11	-29	263.7%
全社費用・セグメント間取引消去		-650	-636	-15	—

© Kirin Holdings Company, Limited

* キリンビール単体の他、台湾麒麟等の連結構成会社を含む

** U.S.ワインを含む

*** Four Roses社の売却に伴う影響は、2026年度の予想において加味していない

FANCL : 2025年度 実績 / 2026年度 予想



(億円)	24年実績*	25年実績	増減	%	26年予想	増減	%
売上収益**	345	1,126	781	226.4%	1,319	193	17.2%
化粧品 (スキンケア)	181	615	434	239.8%	731	116	18.8%
サプリメント	145	448	303	209.0%	524	76	17.0%
事業利益*** [事業利益率]	20 5.8%	96 8.5%	76	378.9%	96 7.2%	—	—

* 連結取り込み開始は24年4Qからのため、2024年実績に3Qまでの実績は含まれない
 ** その他事業を含む
 ***PPA(Purchase Price Allocation)による無形資産等の償却費を含む

[参考] ****

地域別金額 対前年増減	25年実績
国内	-1.0%
海外	25.9%

****24年通期実績を日本基準で置き換えた参考値

地域別金額 対前年増減	26年予想
国内	5.7%
海外	104.6%

2025年度 実績

※以下の記載は、2025年実績を2024年の12か月ベース（1-9月のキリン未取込み分含む）と比較した場合の参考情報

売上
収益
(参考)

化粧品(スキンケア)事業

▶ 国内外ともにアテニアブランドが好調に推移し増収

サプリメント事業

▶ 海外において年代別サプリメントを中心に好調に推移し増収

事業
利益
(参考)

▶ 海外での販売好調と、販管費の管理を徹底したこと等により増益

2026年度 予想

売上
収益

化粧品(スキンケア)事業

▶ 主な増加は海外において自社販売に移行することによるもの。国内は引き続きアテニアの成長に加え、ファンケルマイルドクレンジングオイルのリニューアルや、広告投資を強化する。

サプリメント事業

▶ 国内は基幹商品にマーケティング投資を集中、海外は中国を中心に販路拡大を目指すことで増収を図る。

事業
利益

▶ 事業利益が横ばい水準となる理由は以下の通り

- 海外での自社販売開始に伴う固定費増加
- 国内での広告投資強化

Blackmores : 2025年度 実績 / 2026年度 予想



豪ドルベース (million AUD)	24年実績	25年実績	増減	%	26年予想	増減	%
売上収益*	690	726	36	5.2%	799	73	10.1%
豪州・NZ	312	324	12	3.6%	—	—	+一桁後半%
東南アジア・韓国	176	196	20	11.0%	—	—	+二桁%
中国	195	204	9	4.2%	—	—	+一桁後半%
事業利益**	60	65	5	8.8%	87	22	32.9%
【事業利益率】	8.7%	9.0%			10.9%		

* その他受託業務を含む合計
 ** PPA による無形資産等の償却費を含む

25年通期予想レート：95.00円 (豪ドル) / 25年実績レート：96.62円(豪ドル)
 24年実績レート：100.15円(豪ドル)

26年通期予想レート：95.00円 (豪ドル)

2025年度 実績

- 売上収益**
- 各エリアで着実に成長し、全エリアでの増収を実現。
 - 豪州・NZ**
 - 販促や新商品に下支えされ、昨年からの好調なモメンタムが継続
 - 東南アジア・韓国**
 - タイ、マレーシア・インドネシア等で注力商品が好調、エリア全体で増収
 - 中国**
 - 競争環境が厳しい中でも、Club Channel 等での取組や市場ニーズに応える高付加価値商品の上市等により、増収を達成
- 事業利益**
- 増収による売上総利益の増加が、成長投資による販促費等の増加を上回り、増益で着地

2026年度 予想

- 売上収益**
- エリア毎の取組によって、成長を加速させていき、APACエリアでの成長を実現させる
 - 豪州・NZ**
 - 各チャネルとの取組強化、および消費者・医療従事者への啓発活動強化などによりマーケットシェアを高めていく
 - 東南アジア・韓国**
 - 成長率の高いタイ・マレーシア・インドネシアで、新商品の拡充を狙う
 - 中国**
 - 現地ディストリビューターとの連携強化と、チャネルミックスの改善により、さらなる成長を実現していく
- 事業利益**
- 26年も昨年に引き続き販促投資を継続させ、各エリアでの売上総利益増による事業利益増を実現させる

キリンビール単体：2025年度 実績 / 2026年度 予想



(億円)	24年実績	25年実績	増減	%	26年予想	増減	%
売上収益	6,627	6,655	28	0.4%	6,636	-19	-0.3%
ビール類計*	5,016	5,024	8	0.2%	4,861	-164	-3.2%
RTD	1,138	1,154	16	1.4%	1,223	69	6.0%
ノンアルコール飲料	104	114	10	10.0%	158	44	38.5%
酒税抜売上収益	4,023	4,144	121	3.0%	4,187	43	1.0%
事業利益	751	889	138	18.4%	836	-53	-5.9%
〔事業利益率〕**	18.7%	21.4%			20.0%		

* 2025年度よりカテゴリー開示は販売数量ベースから金額ベース（売上収益）へ変更
 ** 対酒税抜売上収益

利益増減	751	24年 事業利益	889	25年 事業利益	(千KL)	24年実績	25年実績	%	26年予想	%
酒類等 限界利益増	168	ビール類計 △66億 ビール類以外計 △23億 価格改定・品種構成差異等 +257億	45	ビール類計 △65億 ビール類以外計 +51億 価格改定・品種構成差異等 +59億	一番搾りブランド計	374	388	3.7%	384	-1.0%
対前年増減					一番搾り計	309	305	-1.2%	305	-0.1%
原材料費減	3	市況影響等	-54	アルミ缶高騰等	晴れ風	73	62	-14.4%	73	17.0%
販売費増	-2	マーケティング費増等	-1	継続的なマーケティング費投下	グッドエール	—	17	—	28	67.9%
その他費用増	-31	修繕費・減価償却費増 他	-43	修繕費・減価償却費増他	淡麗グリーンラベル	136	128	-6.2%	118	-7.7%
計	138		-53		本麒麟	172	152	-11.7%	138	-9.0%
	889	25年 事業利益	836	26年 事業利益	氷結ブランド計	303	303	-0.1%	313	3.3%

2025年度 実績

- 売上収益**
 - 「一番搾りブランド計」は前年を上回ったほか、10月発売の「グッドエール」が年間販売計画を大幅に上回るなど、狭義ビールの伸長も増収を後押しした。
 - 10月以降の販売数量増により、対前年で増収を確保した。
- 事業利益**
 - 価格改定効果に加え、競合のサイバー攻撃による影響（約40億円の限界利益増）により、事業利益は大幅増益。コストコントロールも寄与し、年初計画を超過した。

2026年度 予想

- 売上収益**
 - 競合のサイバー攻撃による影響がなくなり、ビール類の数量減を見込むものの、狭義ビールの成長と構成比拡大、成長カテゴリーであるRTD、ノンアルコールの強化により、売上収益は前年並みを維持する。
- 事業利益**
 - 事業利益は減益の計画だが、前期のサイバー攻撃による影響と、今期発生する研究機能移管などの費用を除けば、対前年で横ばいを維持する。

Lion : 2025年度 実績 / 2026年度 予想



➤ マネジメント体制の変更に伴い、2026年度よりLion（豪州・NZ）とNew Belgium他のそれぞれで開示する

豪ドルベース (million AUD)	24年実績	25年実績	増減	%	26年予想	増減	%
売上収益	2,026	2,025	-1	-0.0%	2,047	22	1.1%
事業利益 [事業利益率]	216 10.6%	233 11.5%	17	7.9%	234 11.5%	2	0.7%

25年通期予想レート：95.00円（豪ドル） / 25年実績：96.62円(豪ドル) 26年通期予想レート：95.00円（豪ドル）
24年実績：100.15円(豪ドル)

豪州・NZ事業利益増減 (million AUD)

24年 事業利益	216
豪州・NZ 数量	2
豪州・NZ その他	16
25年 事業利益	233

販売数量前年比

豪州のみ	+0.9%
------	-------

2025年度 実績

売上収益

➤ マーケティング施策と価格戦略の徹底により、豪州の販売数量が前年微増になったことや、販売単価上昇が寄与し、売上収益は前年並みとなった。

事業利益

➤ 販売単価上昇を主要因とする粗利増加と構造改革による固定費削減でインフレによる販管費・一般管理費増を相殺。またマーケティング費用をコントロールしたこともあり、増益となった。

2026年度 予想

売上収益

➤ 豪州市場の数量は前年減を見込む。Hahn/Stone&Wood/氷結の2桁前半%増に加え、基幹ブランドの維持で、数量計は前年微減に留める。売上収益は、価格改定等による販売単価上昇が寄与し増収。

事業利益

➤ 事業利益は、販売単価上昇と固定費削減で、販売数量減や各種コストアップを打ち返し前年微増。

New Belgium他* : 2025年度 実績 / 2026年度 予想



➤ New Belgium他*は、米ドルベースでの開示に変更する

*U.S.ワインを含む

豪ドルベース (million AUD)	24年実績	25年実績	増減	%
売上収益	916	909	-7	-0.7%
事業利益	97	87	-10	-10.4%
[事業利益率]	10.6%	9.6%		

25年通期予想レート：95.00円 (豪ドル) / 25年実績：96.62円(豪ドル)
24年実績：100.15円(豪ドル)

米ドルベース (million USD)	24年実績	25年実績	増減	%	26年予想	増減	%
売上収益	604	585	-19	-3.2%	622	37	6.3%
事業利益	64	56	-8	-12.4%	63	7	12.5%
[事業利益率]	10.5%	9.6%			10.0%		

25年実績：149.78円(米ドル) 26年通期予想レート：150.00円 (米ドル)
24年実績：152.24円(米ドル)

2025年度 実績

売上収益

➤ 市場縮小が続く中で、Voodoo Rangerブランドは市場を上回り健闘、昨年ハリケーン被災の裏返しによる増収効果もあったが、前年微減で着地。

事業利益

➤ 販売状況を加味しマーケティング費や各種コストコントロールを実施したが、クラフト市場低迷に伴う数量減や原材料費増により減益。

2026年度 予想

売上収益 事業利益

➤ Voodoo Rangerブランドで昨年発売のなかった新商品を発売するほか、一番搾りも大幅な数量成長を図ることや、販売単価上昇を主要因に増益を図る。

キリンビバレッジ / Coke Northeast : 2025年度 実績 / 2026年度 予想



(億円)	24年実績	25年実績	増減	%	26年予想	増減	%	販売数量 (万ケース)	24年実績*	25年実績	%
売上収益	2,688	2,697	9	0.4%	2,706	9	0.3%	午後紅茶	4,993	4,877	-2.3%
ヘルスサイエンス飲料	379	420	41	10.9%	487	67	15.8%	生茶	3,079	2,531	-17.8%
事業利益	183	201	18	10.0%	210	9	4.6%	*プラスマ乳酸菌入り飲料等の一部商品について、「ヘルスサイエンス飲料」とする算出方法への変更に伴い、2024年実績を遡及修正しています。			
[事業利益率]	6.8%	7.4%			7.8%						

Kirin Beverage

2025年度 実績

- 売上収益** ▶ 価格改定による単価上昇とヘルスサイエンス飲料の売上拡大が寄与し、数量減を吸収して前年並みを維持した。
- 事業利益** ▶ 原材料価格上昇等のコスト増を価格改定効果等が上回り、増益となった。

2026年度 予想

- 売上収益** ▶ 価格改定による単価上昇やヘルスサイエンス飲料の売上増加によって、全体の販売数量減を相殺し、前年並みの水準を見込む。
- 事業利益** ▶ コストアップの影響は、前年10月に実施した価格改定効果等で吸収し、増益を目指す。

USDベース (million \$)	24年実績	25年実績	増減	%	26年予想	増減	%
売上収益	1,885	2,002	118	6.2%	2,092	90	4.5%
事業利益	291	311	20	6.9%	317	6	1.9%
[事業利益率]	15.4%	15.5%			15.2%		

25年通期予想レート：145.00円 (米ドル) / 25年実績：149.78円(米ドル) 26年通期予想レート：150.00円 (米ドル)
24年実績：152.24円(米ドル)

Coke Northeast

2025年度 実績

- 売上収益** ▶ 店頭露出の強化等による販売数量の増加、及び価格マネジメントによる単価上昇が寄与し、増収となった。
- 事業利益** ▶ 売上収益の増加に加え、インフレ等により増加する販管費を抑制したこと、増益となった。

2026年度 予想

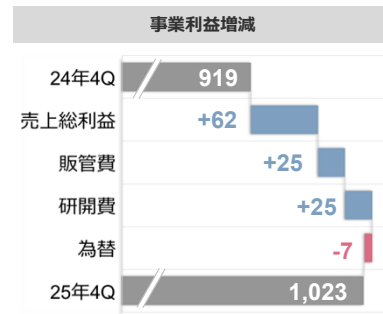
- 売上収益** ▶ 価格マネジメントによる単価上昇に加え、店頭露出やプロモーション施策によって販売数量を微増させ、増収を見込む。
- 事業利益** ▶ 販促費の投下によって緩やかな利益成長を見込むものの、事業利益率は引き続き15%台を安定的に維持する。

協和キリン：2025年度 実績 / 2026年度 予想



(億円)	24年実績	25年実績	増減	%	26年予想	増減	%
売上収益	4,956	4,968	13	0.3%	5,200	232	4.7%
事業利益	919	1,023	105	11.4%	890	-133	-13.0%
〔事業利益率〕	18.5%	20.6%			17.1%		

(億円)	Crysvita クリスピータ			Poteligeo ポテリジョ		
	24年実績	25年実績	26年予想	24年実績	25年実績	26年予想
日本	117	136	147	18	16	14
北米	1,300	1,418		297	339	409
EMEA	515	575	2,207	82	100	120
その他	33	35		1	2	2
合計	1,966	2,164	2,354	33	457	546



2025年度 実績

売上収益

- 日本における薬価改定や、EMEA地域での前年のブランドライセンス譲渡に伴う反動影響があったものの、北米・EMEA地域を中心としたグローバル戦略品の順調な成長と技術収入の増加が寄与し、増収。

事業利益

- 売上総利益の増加に加えて、APAC事業再編およびコストコントロールを背景とした販管費の減少、ならびにrocatinlimabの研究開発費減少により、増益。

2026年度 予想

売上収益

- 北米およびEMEA地域でのグローバル戦略品の拡大に加え、技術収入の増加により、増収。

事業利益

- グローバル戦略品の伸長や技術収入の増加により売上総利益は増加するものの、rocatinlimabの米国上市費用および研究開発費の増加がこれを上回り、減益。

2026年2月9日現在

	開発中の疾患 ^{*1}	承認予定年 ^{*2}	開発ステータス	市場規模 ^{*3}	患者さんの数 ^{*4}
rocatinlimab KHK4083/AMG 451	中等症から重症のアトピー性皮膚炎	2027	P3 (グローバル)	★★★★★	16M
	結節性痒疹	TBD	P3 (グローバル)	★★★★	1M
	中等症から重症の喘息	TBD	P2 (グローバル)	★★★★★	13.5M
KK8398 infigratinib	軟骨無形成症	TBD	P3 (日本)	★	生児出生の 2万人に1人
	軟骨低形成症	TBD	P3 (日本) 準備中	★	生児出生の 3.3万人に1人
ziftomenib	急性骨髄性白血病 (NPM1-m or KMT2A-r, 新規診断)	TBD	P3 (グローバル)	★★★★	20K
KHK4951 tivozanib 点眼	滲出型加齢黄斑変性	TBD	P2 (日・米)	★★★★★	2672K
	糖尿病黄斑浮腫	TBD	P2 (日・米)	★★★★	2219K
OTL-203	ムコ多糖症I型 (Hurler症候群)	2029/2030	ヒポタル試験 ^{*5} (米・欧)	★	生児出生の 10万人に1人 ^{*6}
OTL-201	ムコ多糖症IIIA型 (Sanfilippo症候群A型)	TBD	POC試験 ^{*7}	★	生児出生の 10万人に1人以下

^{*1} 本資料の発表時点で開発中の疾患であり、最終的に規制当局から承認される適応症とは異なる可能性があります。^{*2} 最初に承認が期待される年です。^{*3} 「開発中の疾患」に対する全製品の総和を基に協和キリンが独自に推計した市場規模です。色付き部分はグローバル、それ以外は日本国内についての値です。★: 500億円未満、★★: 500億円以上-1000億円未満、★★★: 1000億円以上-5000億円未満、★★★★: 5000億円以上-1兆円未満、★★★★★: 1兆円以上 ^{*4} 協和キリン独自の推計値です。色付き部分はグローバル、それ以外は日本国内についての値です。^{*5} P3試験相当。^{*6} 「10万人に1人」はMPS-I全体の値であり、Hurler症候群はこのうちの60%になります。^{*7} P1/2試験相当。

持分法適用関連会社 San Miguel Breweryの業績



- 価格改定による単価上昇に加え、売上原価の改善によって、営業利益は前年を上回った。
- これらの利益成長に伴い、キリンホールディングスの受取配当金も増加している。

(百万ペソ)	2025年実績	2024年実績	増減 %
売上高*	152,884	150,234	1.8%
営業利益*	33,888	30,727	10.3%
営業利益率	22.2%	20.5%	1.7%
減価償却費及び償却費他*	7,788	7,441	4.7%
EBITDA (営業利益 + 減価償却費及び償却費他)	41,676	38,168	9.2%

* 現地開示ベース（キリンホールディングス 2025年度決算への取り込み期間：2024年10月～2025年9月）
出所：San Miguel Brewery Inc. Financial Highlights, Quarterly Reports

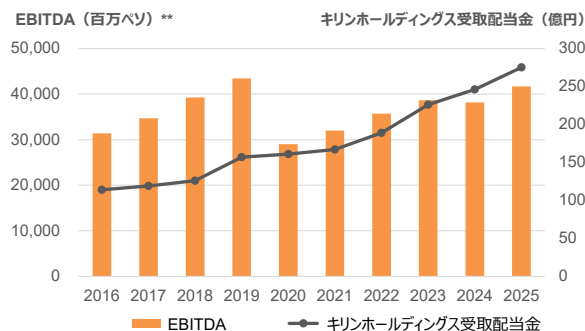
持分法による連結取込み及びキリンホールディングス受取配当金

(億円)	2025年実績	2024年実績	増減 %
当期利益 (SMB)	678	650	4.4%
連結取込	327	310	5.5%
配当金 (億円)	275	246	12.0%
1株当たり配当金 (ペソ)	1.4	1.2	12.9%

為替レート：1ペソ = 2.62円（前年同期：2.66円）
(キリンホールディングス 2025年度決算への取り込み期間：2024年10月～2025年9月)
配当金についてはキャッシュインベースで計上

© Kirin Holdings Company, Limited

EBITDAと受取配当金の推移



- フィリピンの2026年GDP予測は約5%***
- 堅調な内需とAI関連需要を背景に、2027年にかけても同程度の成長率で推移すると予測***
- San Miguel Breweryのフィリピンでの市場シェアは9割を超える

** 現地開示ベース（1月～12月） *** 世界銀行予測

財政状態計算書 キャッシュ・フロー計算書



(億円)	2025年実績	2024年実績	増減
資産合計	34,940	33,542	1,399
資本合計	15,951	15,337	614
負債合計	18,989	18,204	785
ROIC*	7.6	4.1	—
グロスDELシオ	0.72	0.73	—
ネットDebt／平準化EBITDA**	2.22	2.39	—
PBR(株価純資産倍率) ***	1.5	1.4	—

ROIC・ネットDebt／平準化EBITDAは4Qのみ開示

(億円)	2025年実績	2024年実績	増減
営業活動CF	2,954	2,428	526
投資活動CF	-1,850	-3,294	1,444
フリーCF	1,104	-865	1,969
財務活動CF	-1,105	581	-1,686

* 利払前税引後利益／(有利子負債の期首期末平均＋資本合計の期首期末平均) にて算出

** 平準化EBITDA＝事業利益＋減価償却費及び償却費(注)＋持分法適用会社からの受取配当金にて算出
(注) 減価償却費及び償却費は使用権資産の償却費を除いております。

*** 期末株価終値／(親会社の所有者に帰属する持分／期末発行済株式数(自己株式除く)) にて算出

© Kirin Holdings Company, Limited



財政状態計算書

▶ **資産合計**：協和キリン㈱における開発品導入等に伴う無形資産の増加及び工場建設の進行に伴う有形固定資産の増加等により、前年度末に比べ1,399億円増加して3兆4,940億円となりました。

▶ **資本合計**：㈱ファンケルの追加取得に伴う非支配持分の減少があった一方で、為替変動の影響等によるその他の資本の構成要素の増加等により、前年度末に比べ614億円増加して1兆5,951億円となりました。

▶ **負債合計**：新規発行による社債の増加等により、前年度末に比べ785億円増加して1兆8,989億円となりました。

▶ **グロスDELシオ**：有利子負債が8%増加し、親会社の所有者に帰属する持分が9%増加したこと、前年度末から減少しました。

▶ **PBR**：期末株価終値が15%上昇し、親会社の所有者に帰属する持分が9%増加したこと、前年度末から増加しました。

キャッシュ・フロー計算書

▶ **営業活動CF**：前年同期に比べ526億円増加の2,954億円となりました。税引前利益は前年同期に比べ981億円増加の2,379億円となり、また、減価償却費及び償却費として1,019億円を計上しました。一方、前年同期に比べ運転資金の流出は123億円増加、法人所得税の支払額は178億円減少しました。

▶ **投資活動CF**：前年同期に比べ1,444億円減少の1,850億円となりました。有形固定資産及び無形資産の売却により81億円の収入がありました。一方、有形固定資産及び無形資産の取得については前年同期に比べ50億円減少し1,756億円の支出、また、子会社株式の取得については前年同期に比べ1,449億円減少し149億円の支出となりました。

▶ **財務活動CF**：1,105億円の支出（前年同期は581億円の収入）となりました。社債の発行により1,000億円、長期借入により280億円の収入がありました。一方、非支配持分からの子会社持分取得により818億円、配当金の支払により735億円、社債の償還により350億円、長期借入金の返済により300億円、リース負債の返済により209億円の支出がありました。

➤ キリンホールディングス
IR情報



<https://www.kirinholdings.com/jp/investors/>

➤ キリンホールディングス
Investor's Guide*



<https://www.kirinholdings.com/jp/investors/guide/>

➤ キリンホールディングス
統合レポート



<https://www.kirinholdings.com/jp/investors/library/integrated/>

* 「Investor's Guide」は、投資家様向けにキリングループの経営計画、事業概要や各事業の保有意義などをまとめた資料です。

© Kirin Holdings Company, Limited

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or sell securities or related financial instruments.

